

(別紙)

## 意見の概要と協議会の考え方等について

案件名	寄居町地域公共交通総合連携計画（案）
意見の募集期間	平成25年2月7日（木）から平成25年3月8日（金）
意見の提出数	1人（2件）

頁	項目	意見の概要	件数	協議会の考え方
40	<b>【施策2】</b> 鉄道サービス向上策の展開  ①東上線東松山・寄居間複線化促進期成同盟会の継続協議	期成同盟会は昭和44年に発足し、継続して協議してきたとのことであるが、嵐山信号所から先は単線のままである。人口増や明らかな乗客増加の要因となる大規模な宅地開発は見込まれない状況である。これ以上働きかけを続けることは無意味であるため、期成同盟会は即刻解散されるべきである。協議を続けるのであれば、根拠を示して欲しい。	1	現在期成同盟会は、嵐山信号場・寄居間の複線化に係る陳情のほか、駅舎等の環境整備、森林公園・小川町駅間並びに小川町駅・寄居駅間の増発、震災時の帰宅困難者に対応するための沿線市町村との連携強化など多岐にわたる事項についての要望活動を東武鉄道株式会社に対し行っております。 したがって、沿線地域の活性化や更なる鉄道の利便性向上のため、本同盟会の果たすべき役割は益々大きくなっておりますことから、上記事項等に係る協議を引き続き行って参ります。
40	<b>【施策2】</b> 鉄道サービス向上策の展開  ②東上線直通電車の延伸に向けた研究・検討	秩父鉄道のATS化によって、十数年前に直通電車が廃止となった。東武鉄道は池袋 - 小川町間においては10両編成で運行を固定化している。以前は6両編成で運転していた直通列車の復活には東武伊勢崎線などで走っているスカイツリートレインのような専用列車が必要になる。しかし、採算面から不可能であろう。 長瀬町の協力を得て、町民や関係者に研究・検討した内容を記載したホームページを速やかに作成して欲しい。	1	ご指摘のとおり、秩父鉄道への直通電車は平成4年に廃止されたものであり、復活に関しては多くの課題があることを認識しております。 しかしながら、直通電車の延伸は地域の活性化に重要な要素であることから、現在、長瀬町との協同により需要の把握、課題の精査等を進めております。 本調査に係る研究・検討結果等の公表につきましては、調査の進捗に応じ今後検討して参ります。

